

授業をクイズ番組のように演出しよう！ Kahoot!の使い方

愛知県瀬戸市
小中学校の先生向けICT活用授業デザイン研修
於 效範小学校
2022年7月21日（效範小学校の先生方）
2022年7月22日（瀬戸市の小中学校の先生方）



team.csvは久留米大学商学部の学生有志による
ボランティアサークルです。
<https://www.facebook.com/teamcsv>

このスライドはteam.csvメンバーが作成しました！
（久留米大学 商学部 3年 瀬戸 理久人）

1

まずは、「Kahoot！」でできることや使い方を動画で
見てみます。

このような動画はたくさんありますので、本日の研修
以降、各自で動画を検索して探してみてください。

では、Kahoot！に関する動画を見てください。

2

いかがでしたか？とても分かりやすい動画です。

動画がわかりやすいというだけではなく、もともとKahoot！そのものがわかりやすい操作性をもつアプリなのです。

ここでは、「2つの面」から再度解説しながら実際にKahoot！を使ってみます。

「2つの面」とは、「教師」と「児童・生徒」のことです。

覚えていただくことは、「アカウント」が**必要**なのは問題を作成して出題する**教師側**であり、問題を回答者として回答する**児童生徒側**にはアカウントは**不要**です。

したがって、児童生徒側のiPadにKahoot！がインストールされており、インターネットにつながっていれば、すぐに授業で使えます！

3

アカウントとは何か？

アカウントは何らかのサービスを利用するための会員証や会員番号のようなものです。

アカウントを取得するというのは、会員登録をして会員になるという意味です。

スポーツクラブなどに会員登録する際には、住所や氏名などを登録することになりますが、インターネット上のサービスでは名前やメールアドレスを中心に登録することになります。

また、通常、会員番号はサービス提供側が発行しますが、インターネット上のサービスでは、自分のメールアドレスが会員番号の役割を果たします。

4

会員番号には同じものがあってはなりません。

メールアドレスは世界中に同じものはありませんので、会員番号としてふさわしいものとなります。

注意点として、メールアドレスなら何でもいいというサービスと、指定されたドメイン名（@マーク以降の文字列）のメールアドレス出なければならないものがあります。

Kahoot! に関しては、どんなメールアドレスでもアカウントの取得が可能です。

Microsoft Whiteboard に関しては、マイクロソフトのメールアドレス（つまりマイクロソフトのアカウント）がアカウントになります。

5

目次

3…Kahoot!とは？

4～15…問題制作

16～30…テストプレイ

31～32…クイズ大会を開こう

33～36…レポート(宿題)を出そう

6

Kahoot!とは？



一言で表すと、

「大人数」で遊べる「クイズ」を簡単に作ることができ、クイズ番組のようなイベントを実施できるアプリケーションです。

パソコン、スマホ、Android端末、iPadで簡単に利用できます。

7

事前準備

この後クイズ問題を作る際に写真が必要です。例えば、鉛筆の写真を撮影しておき、「これは何ですか？」という問題と正解である「鉛筆」を含む選択肢を作成します。

問題は複数作りますので、今から問題にする「モノ」の写真を4種類ほど撮影してください。

8

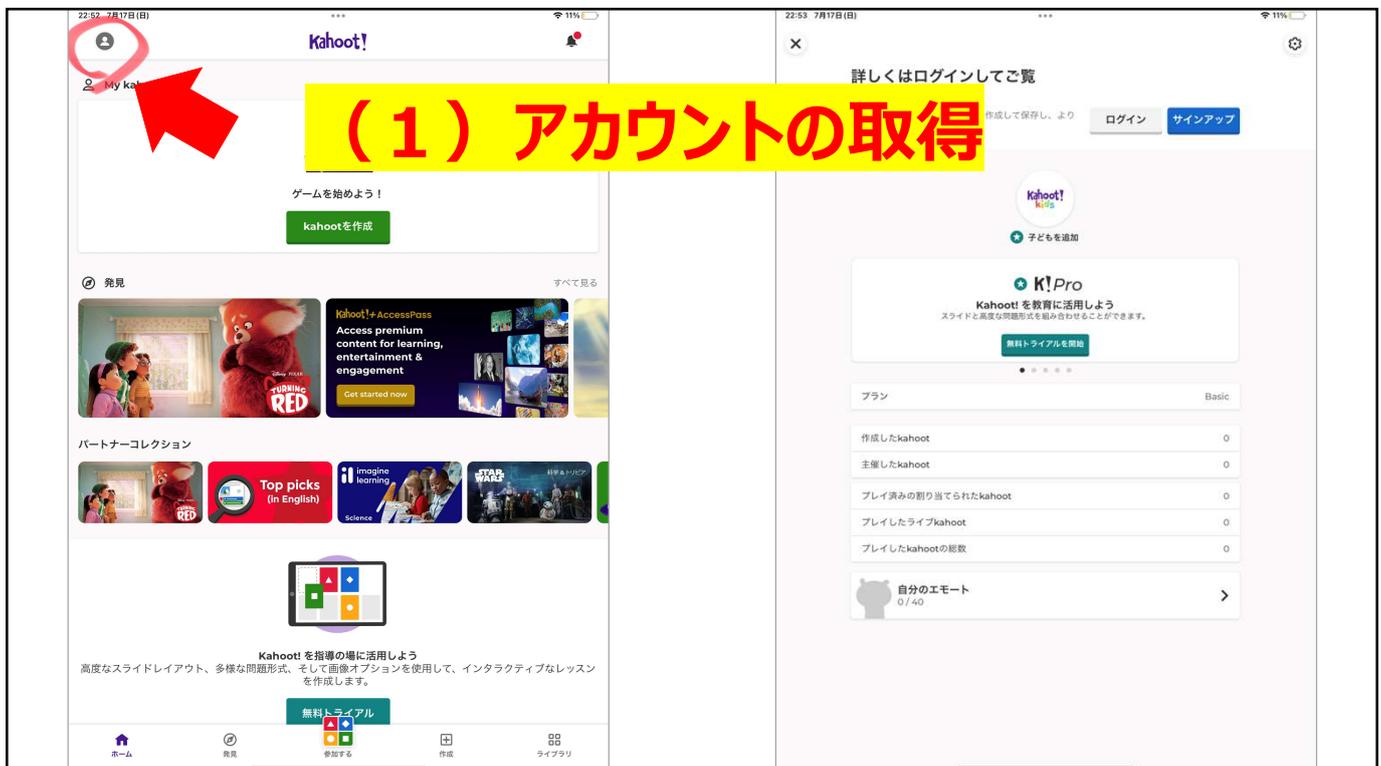
iPadの活用

- ・アカウントの取得
- ・問題作成
- ・出題

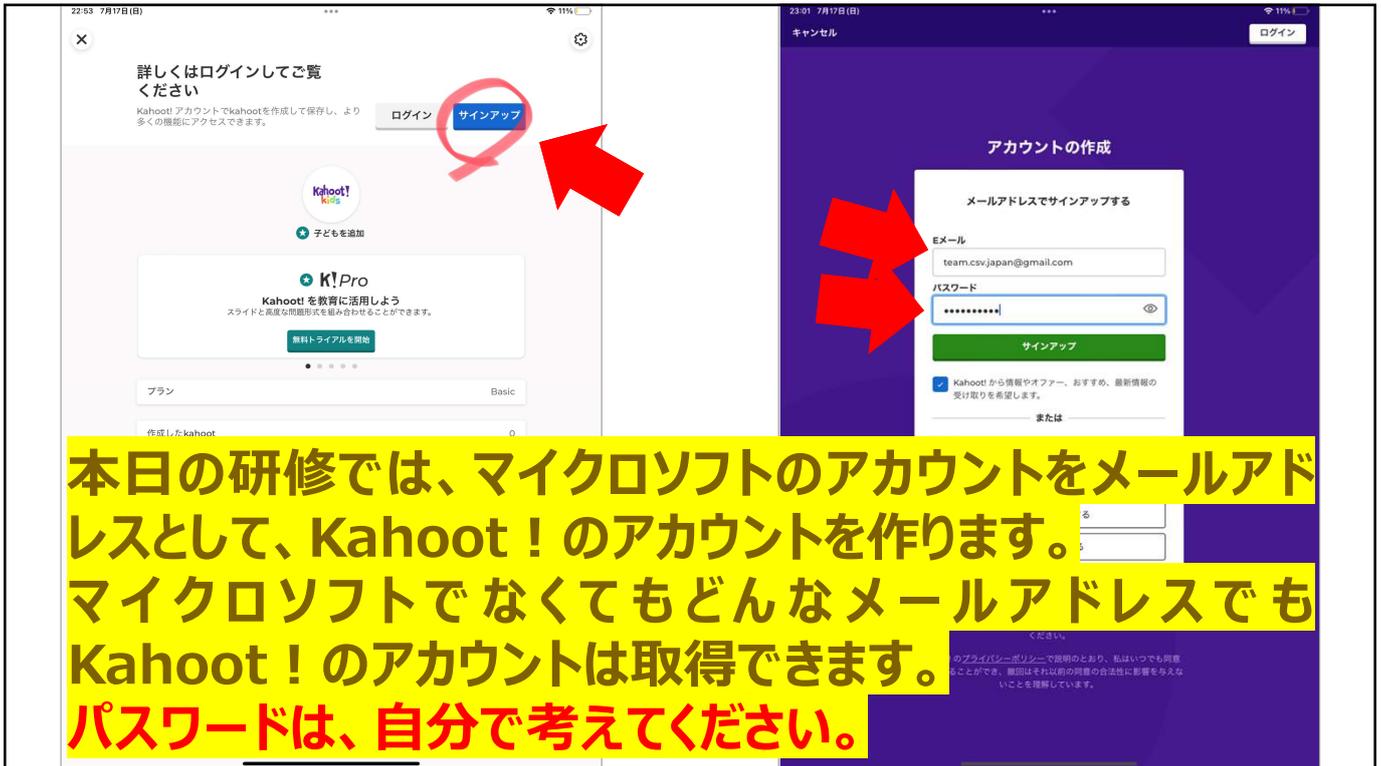


まずは、Kahoot!のアイコンをタッチしてみましょう。

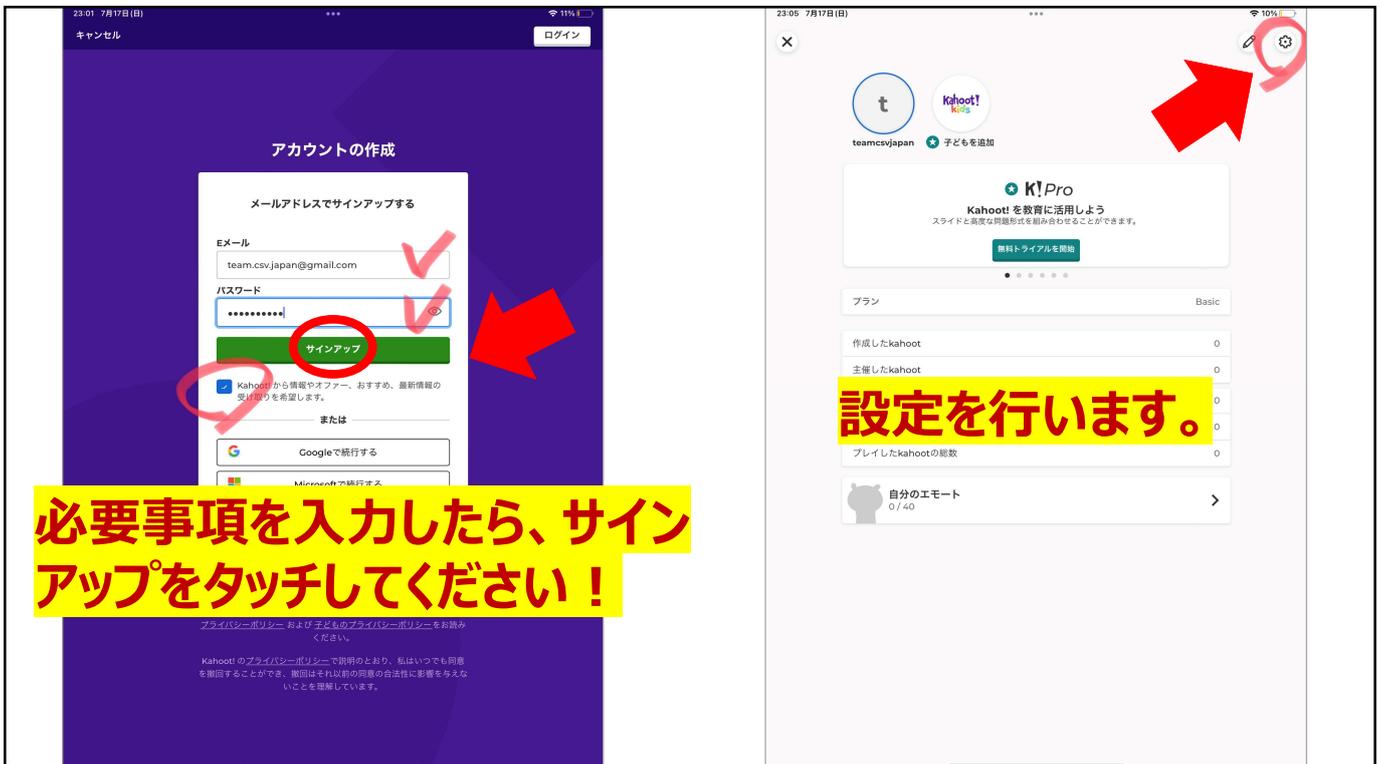
9



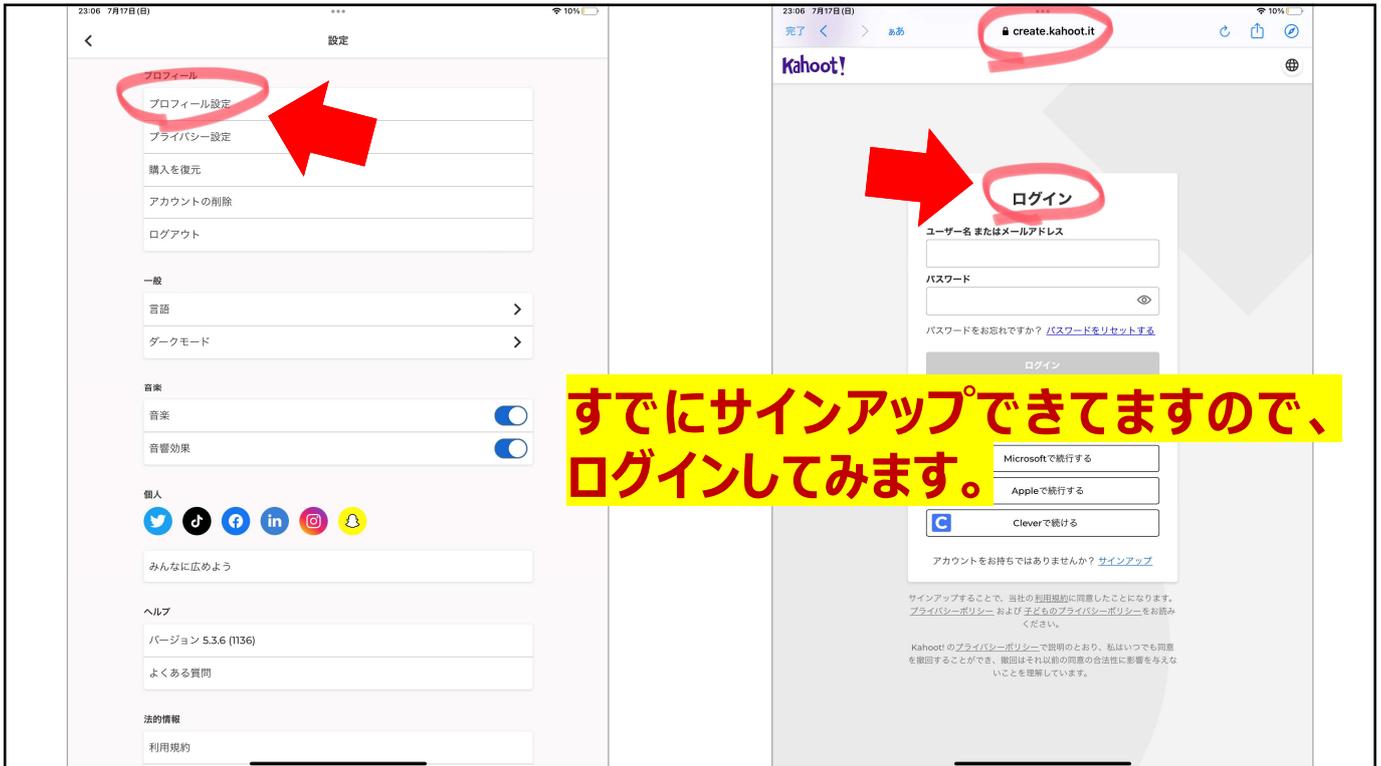
10



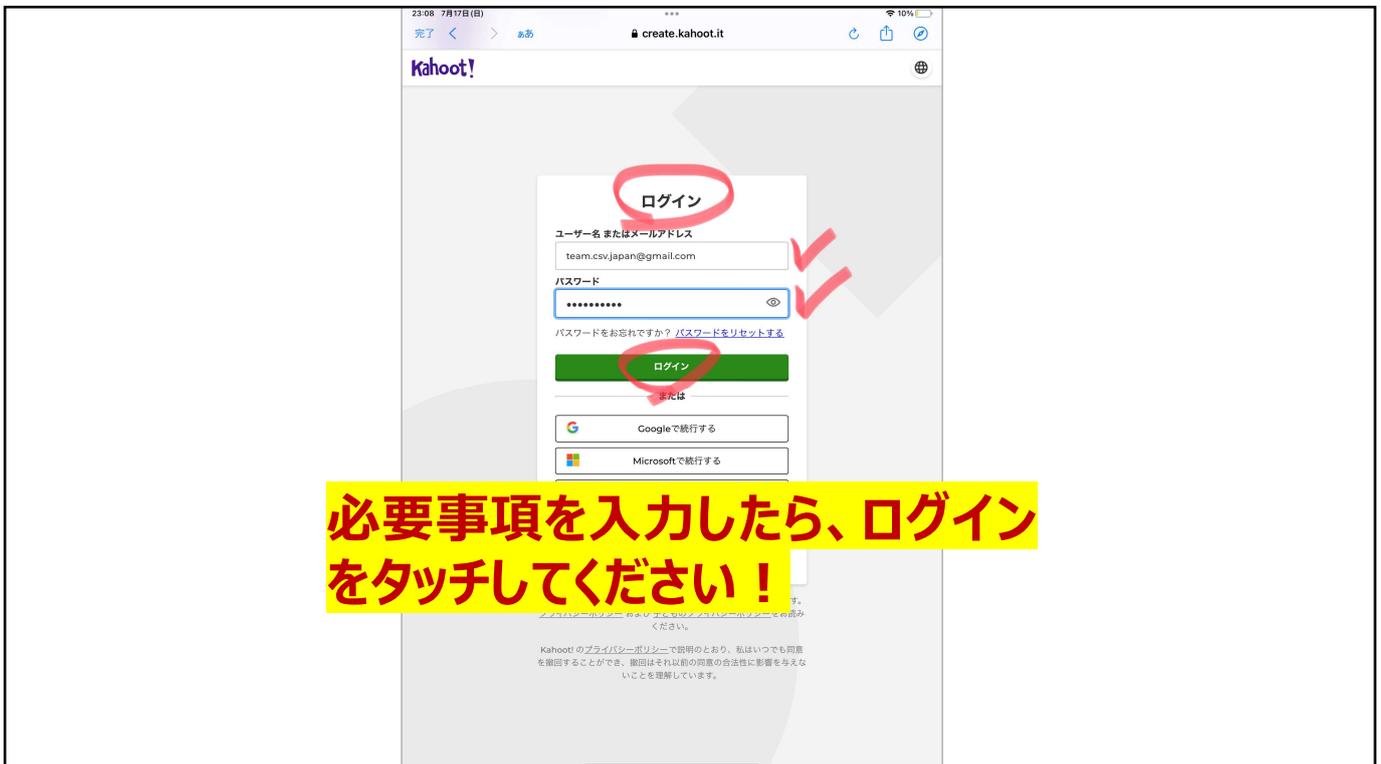
11



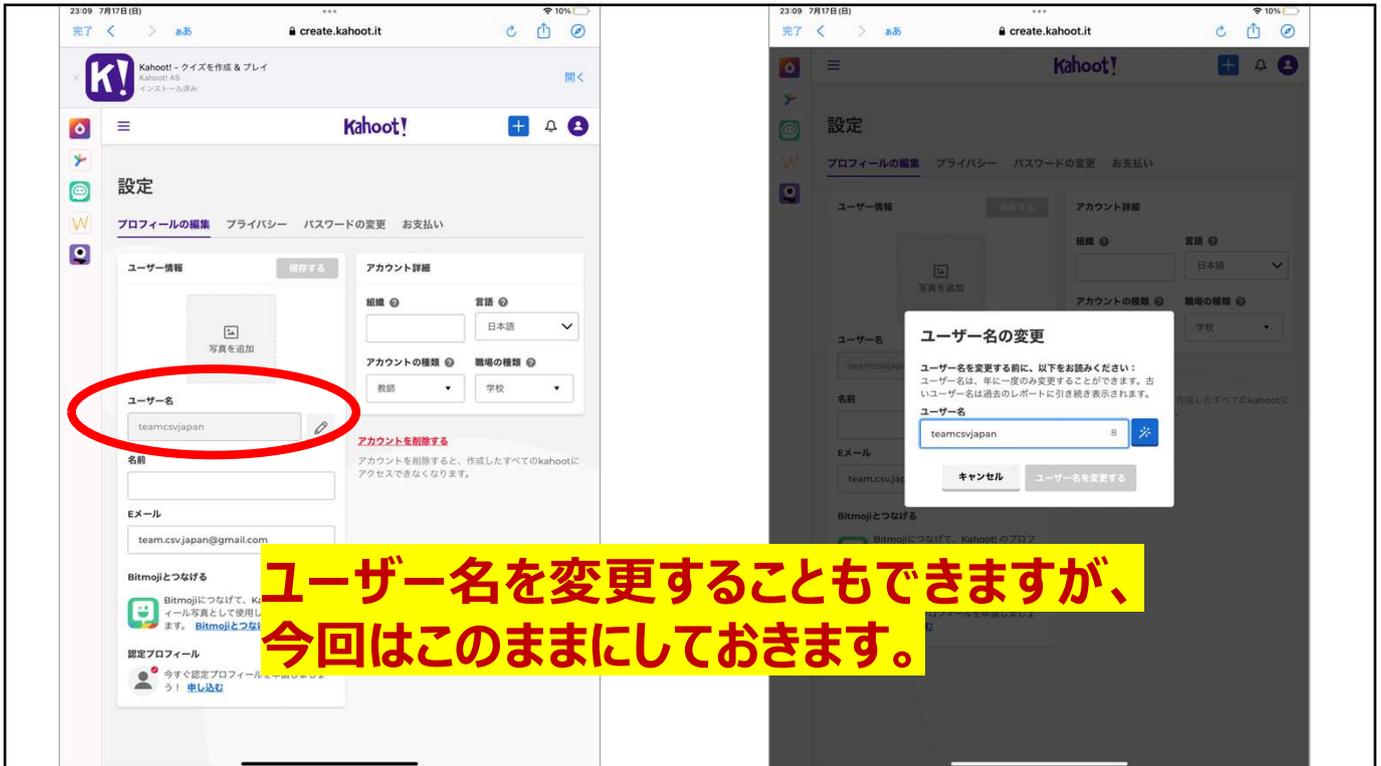
12



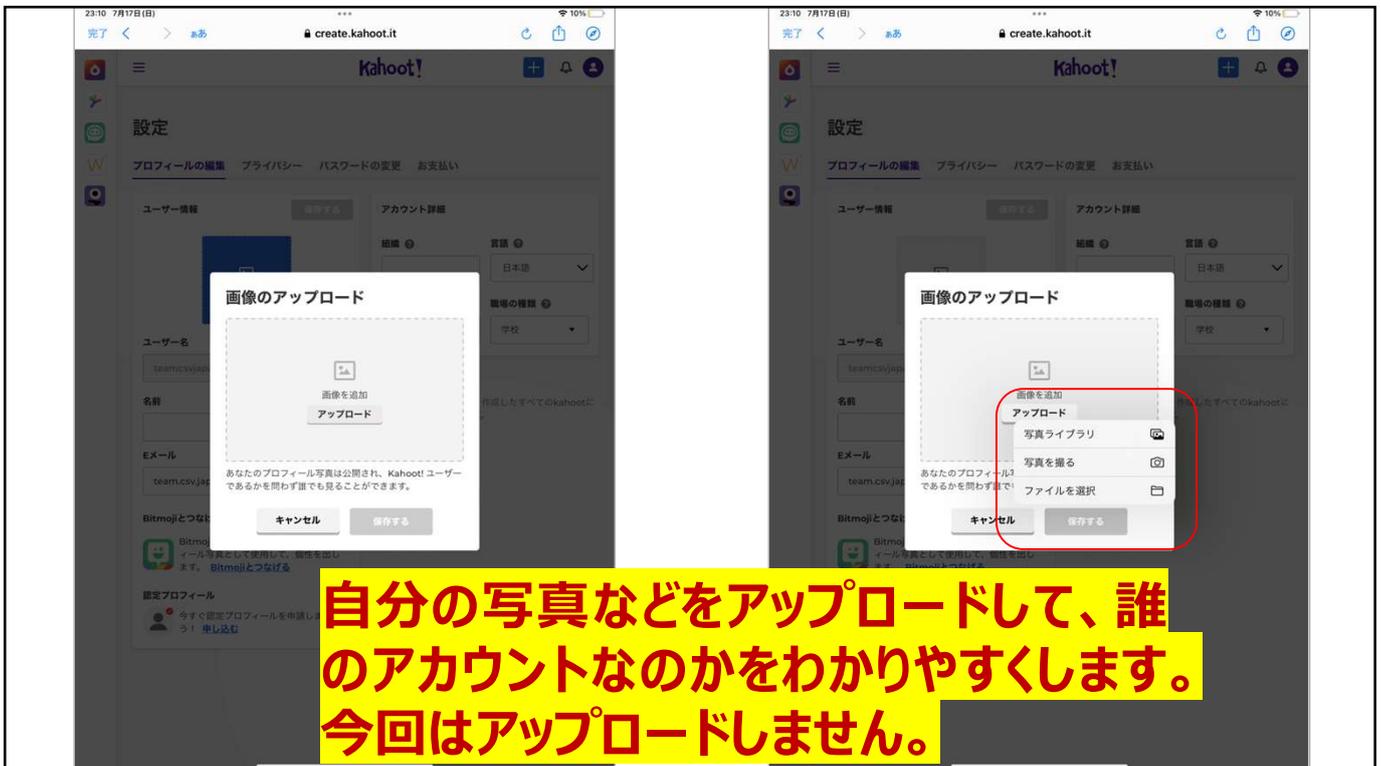
13



14



15



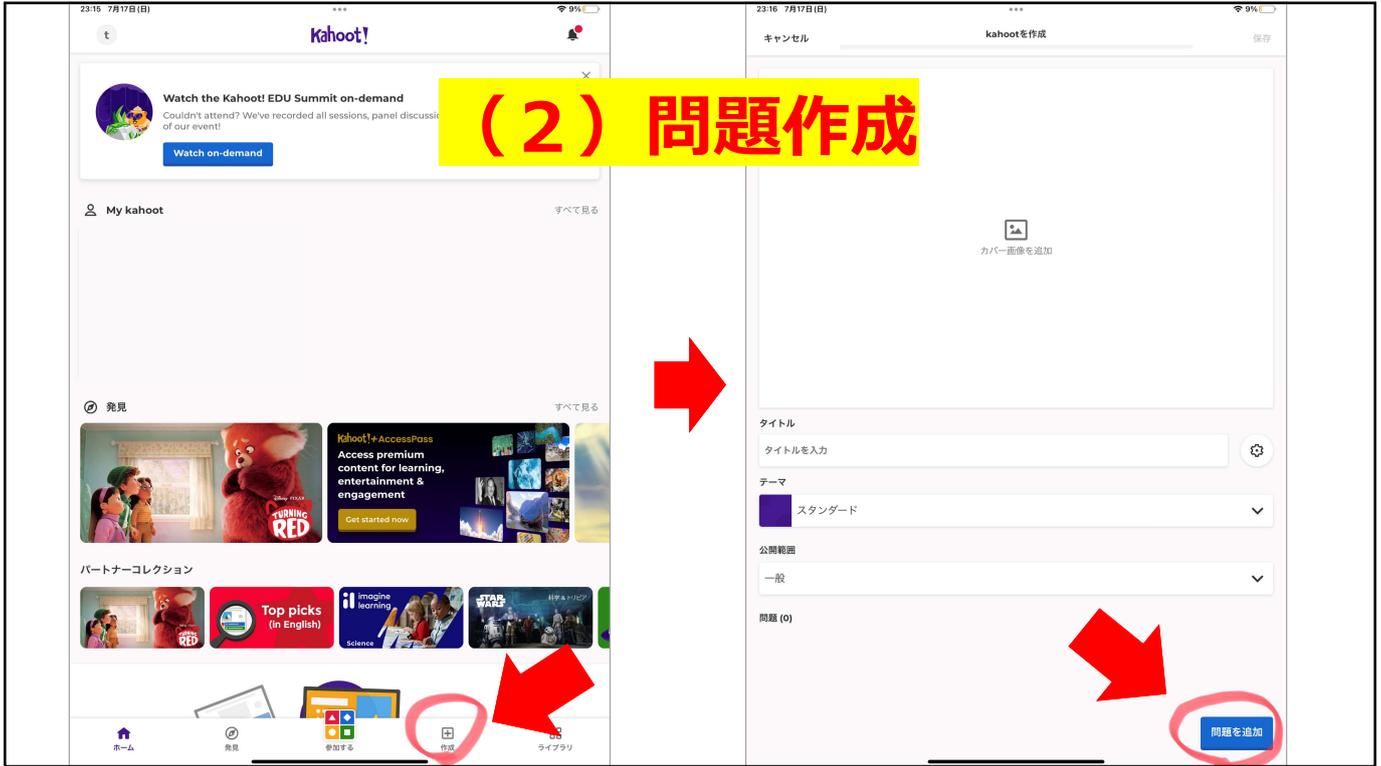
16



19

問題作成

20



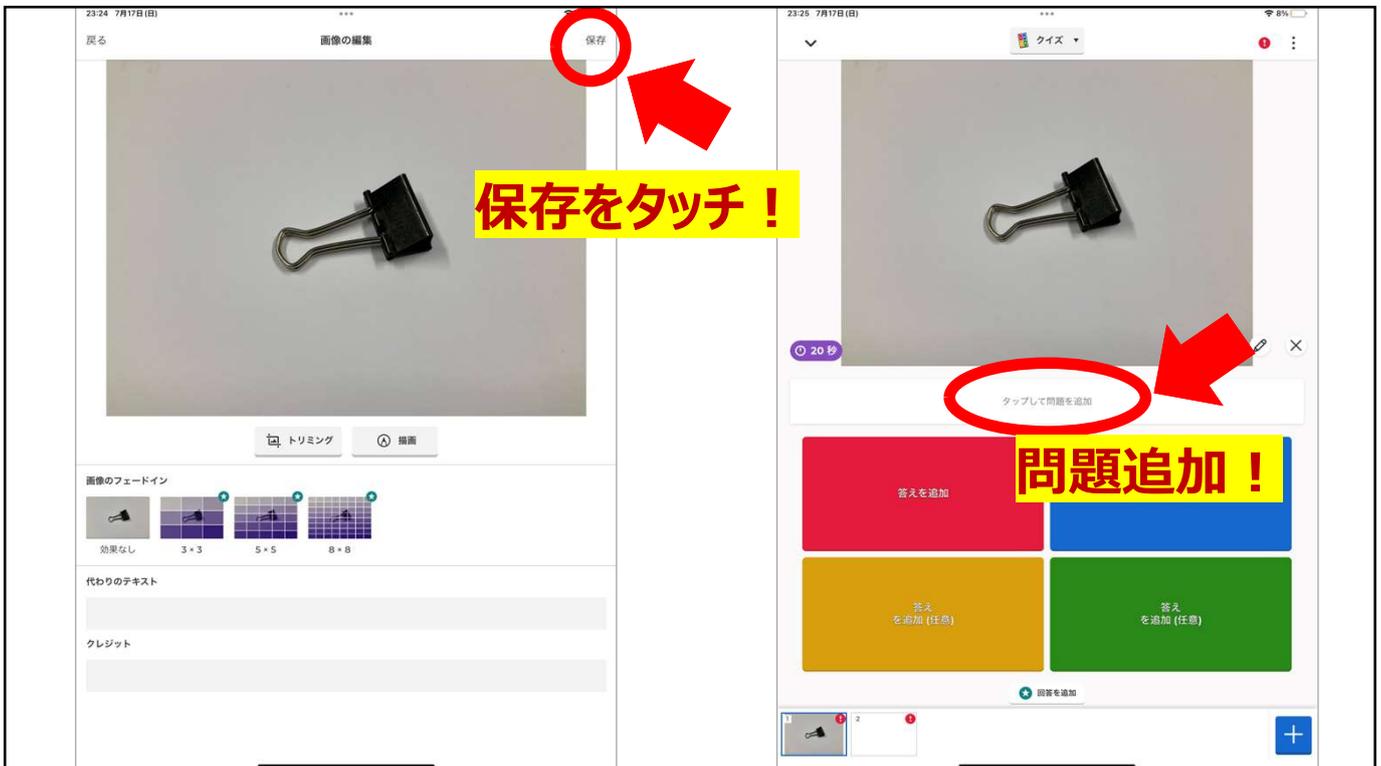
21



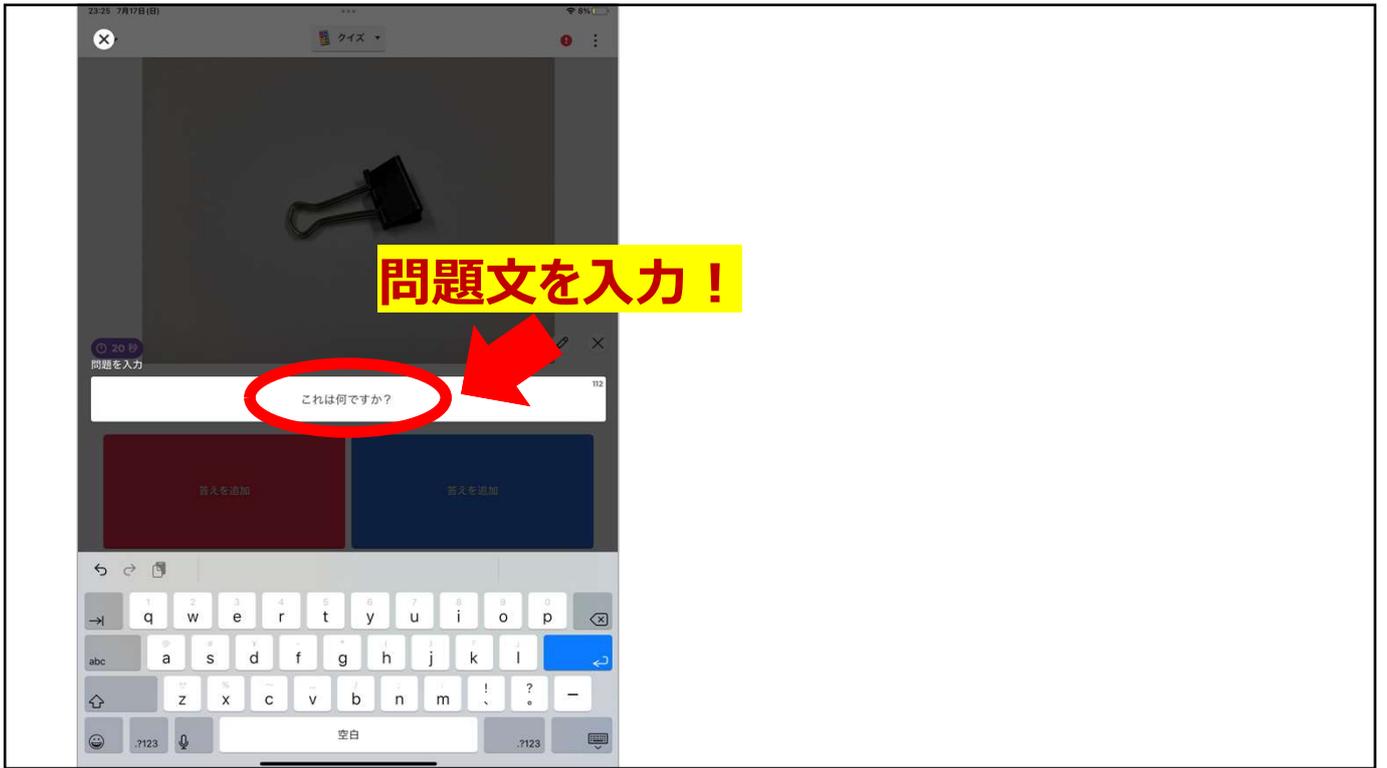
22



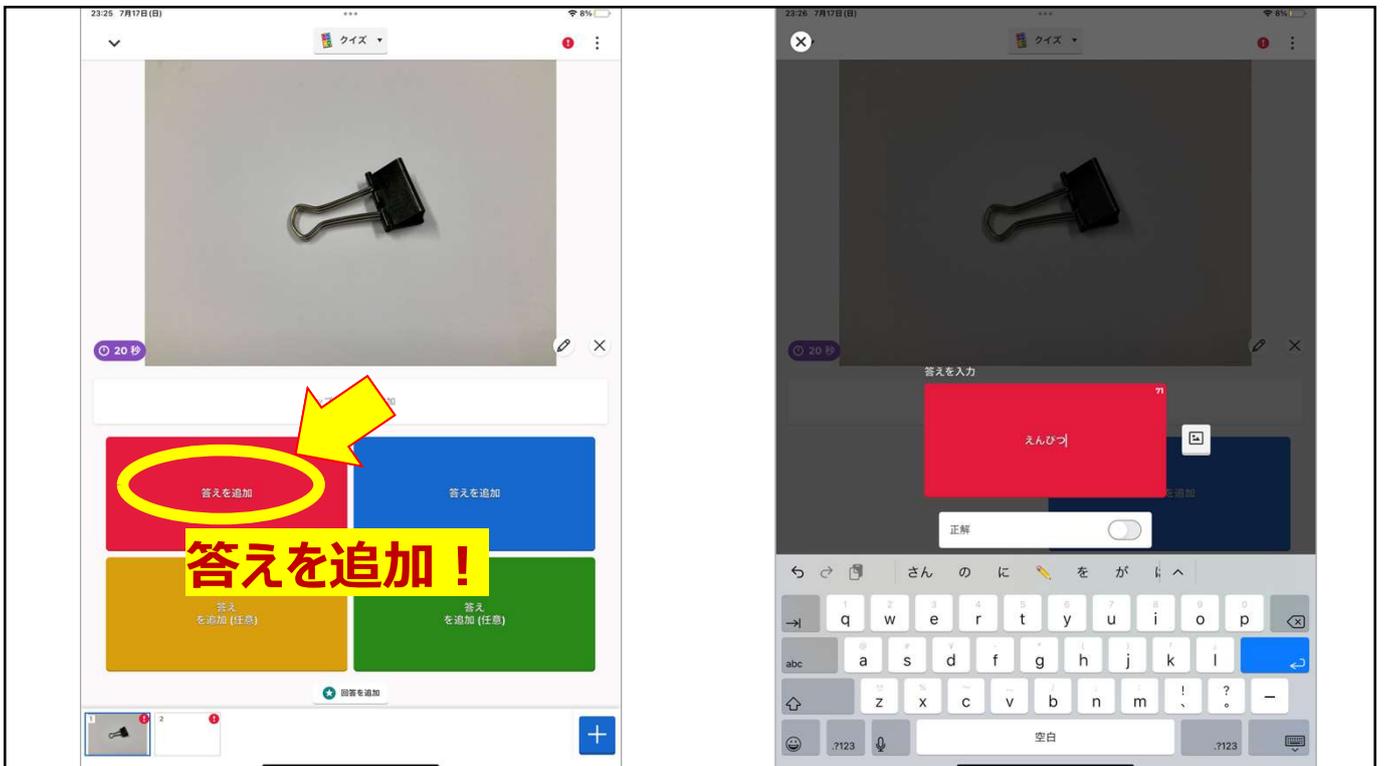
23



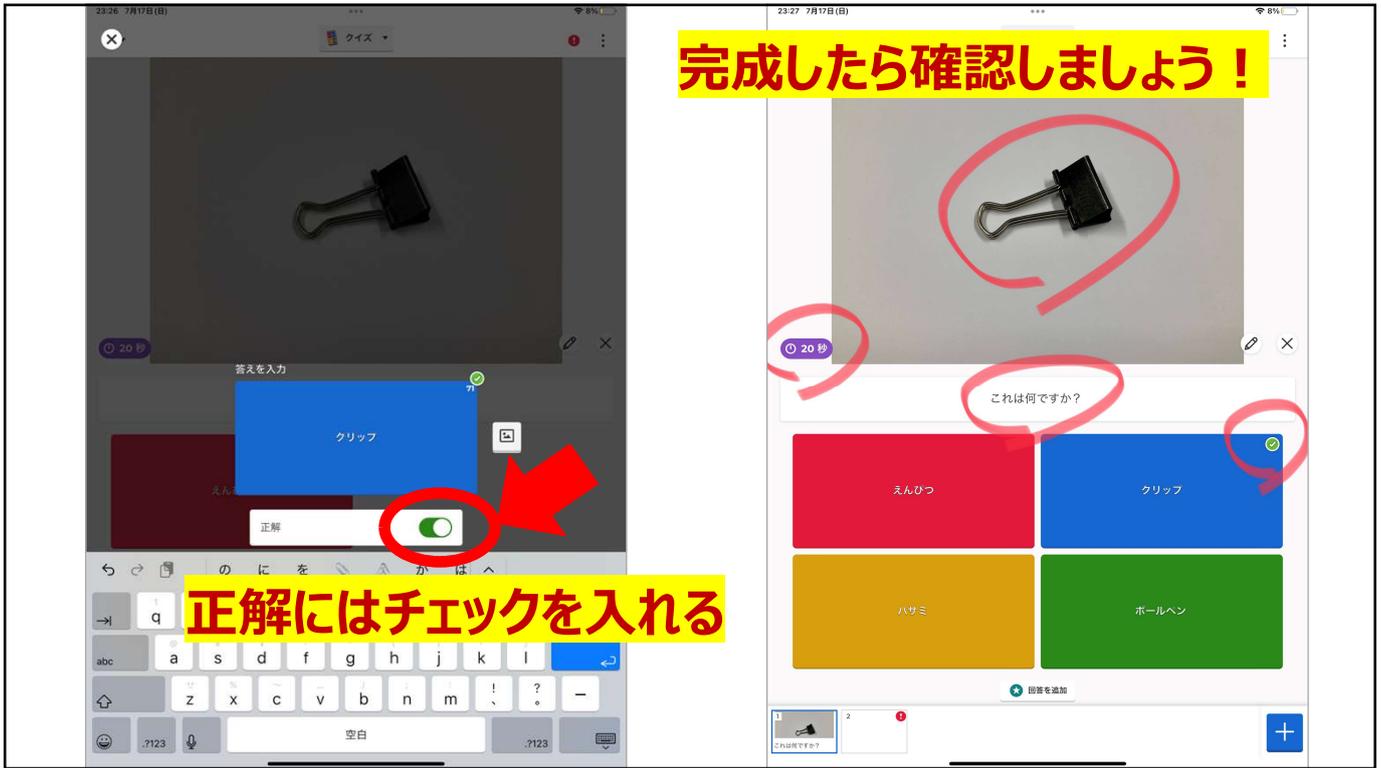
24



25



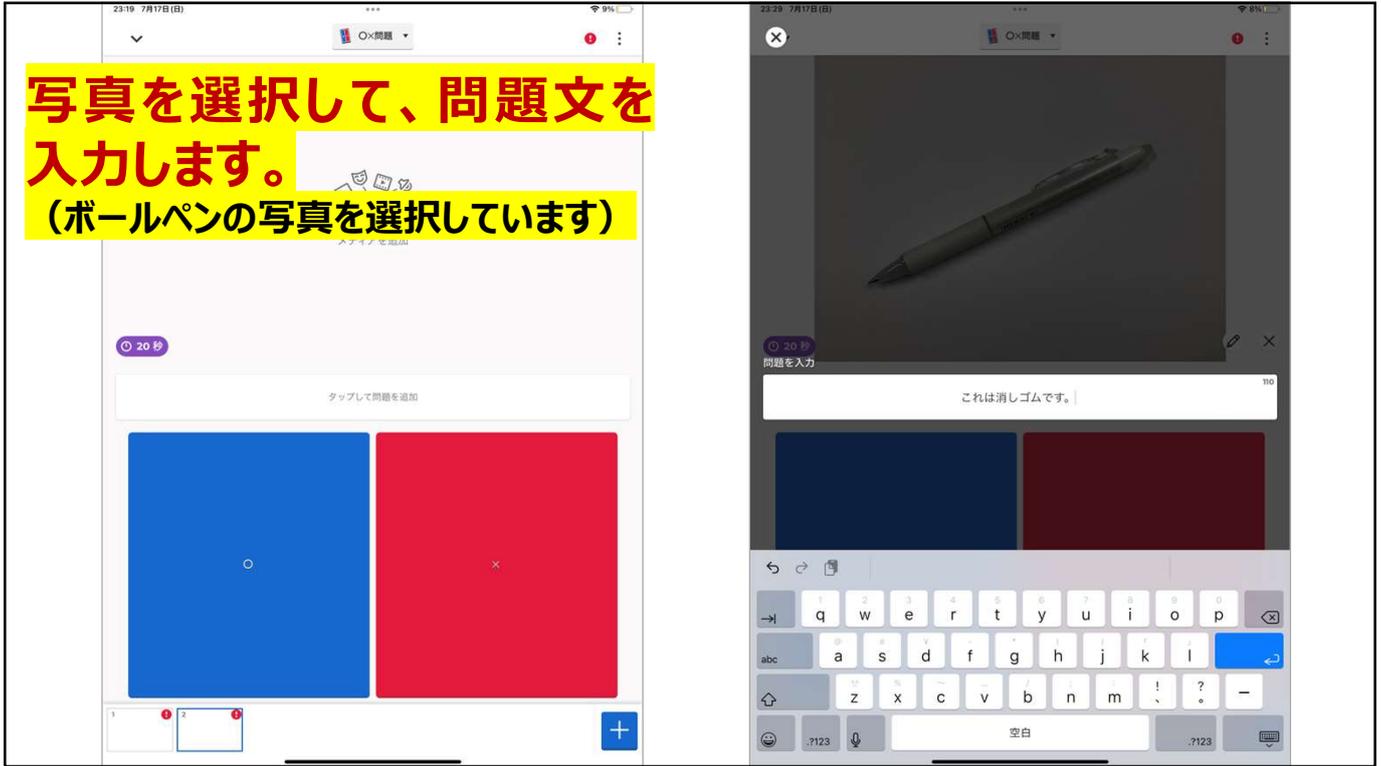
26



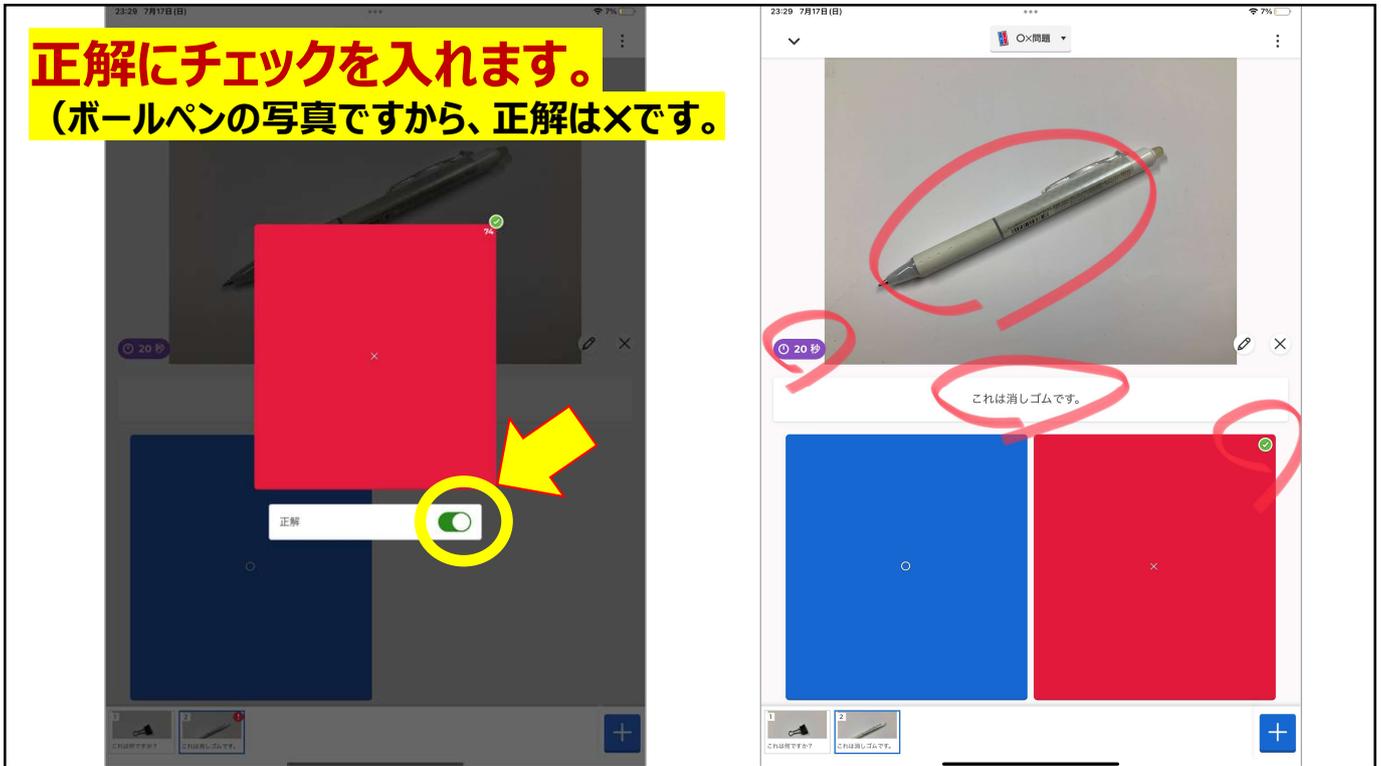
27



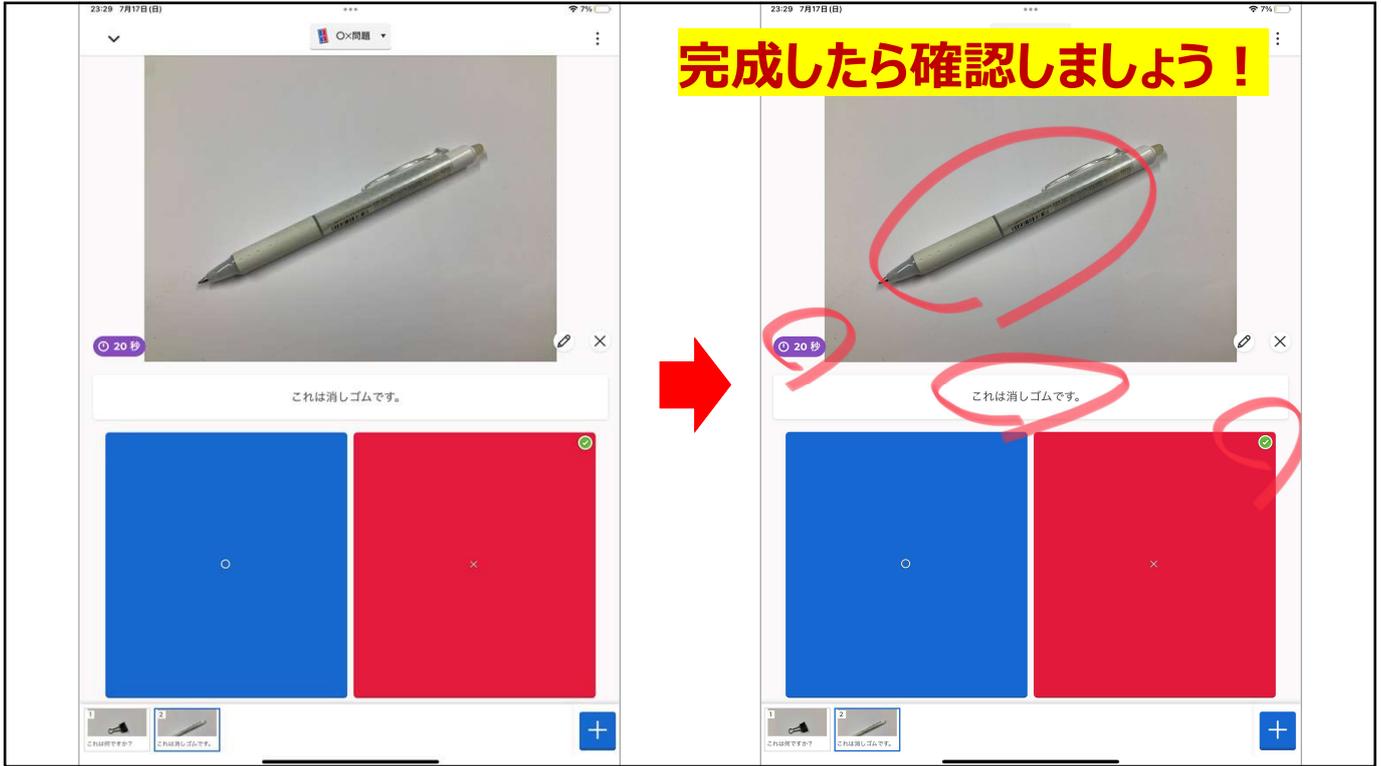
28



29



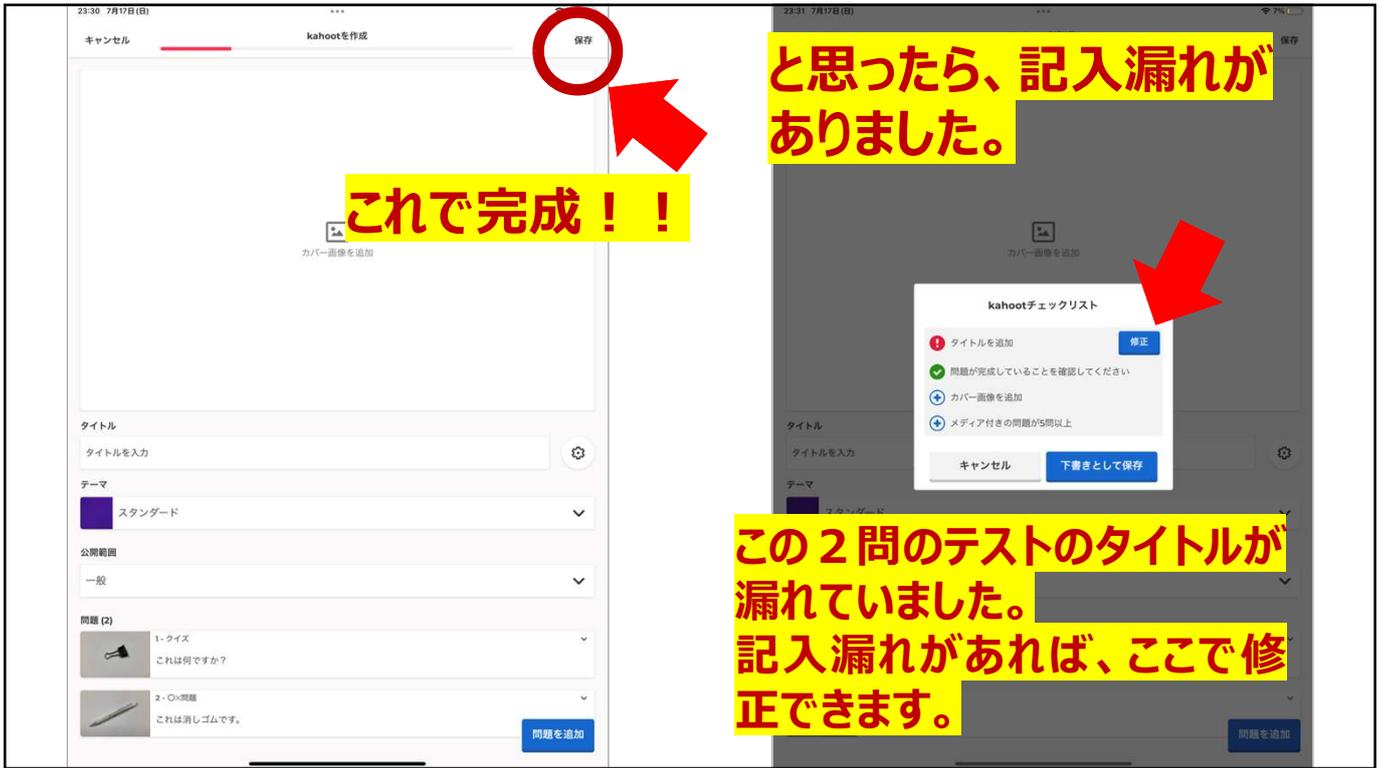
30



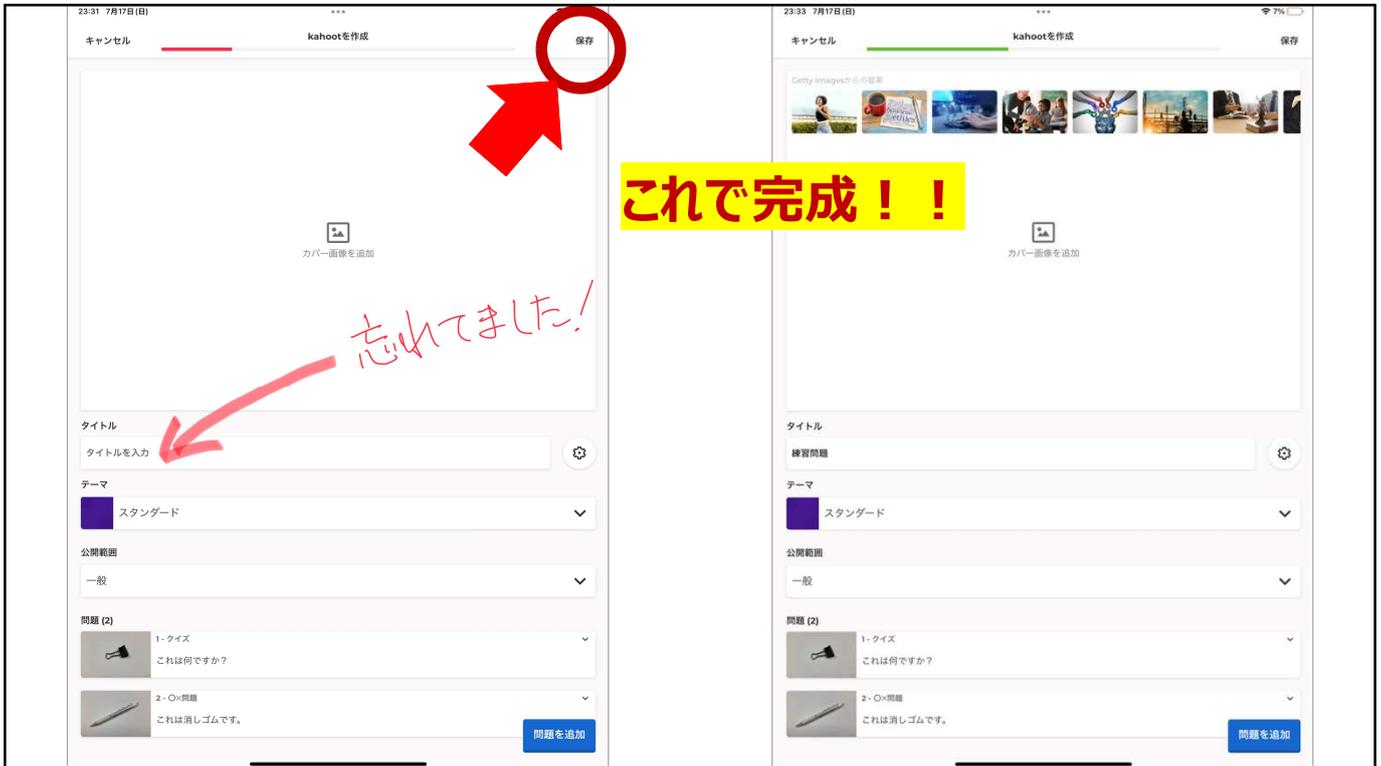
31



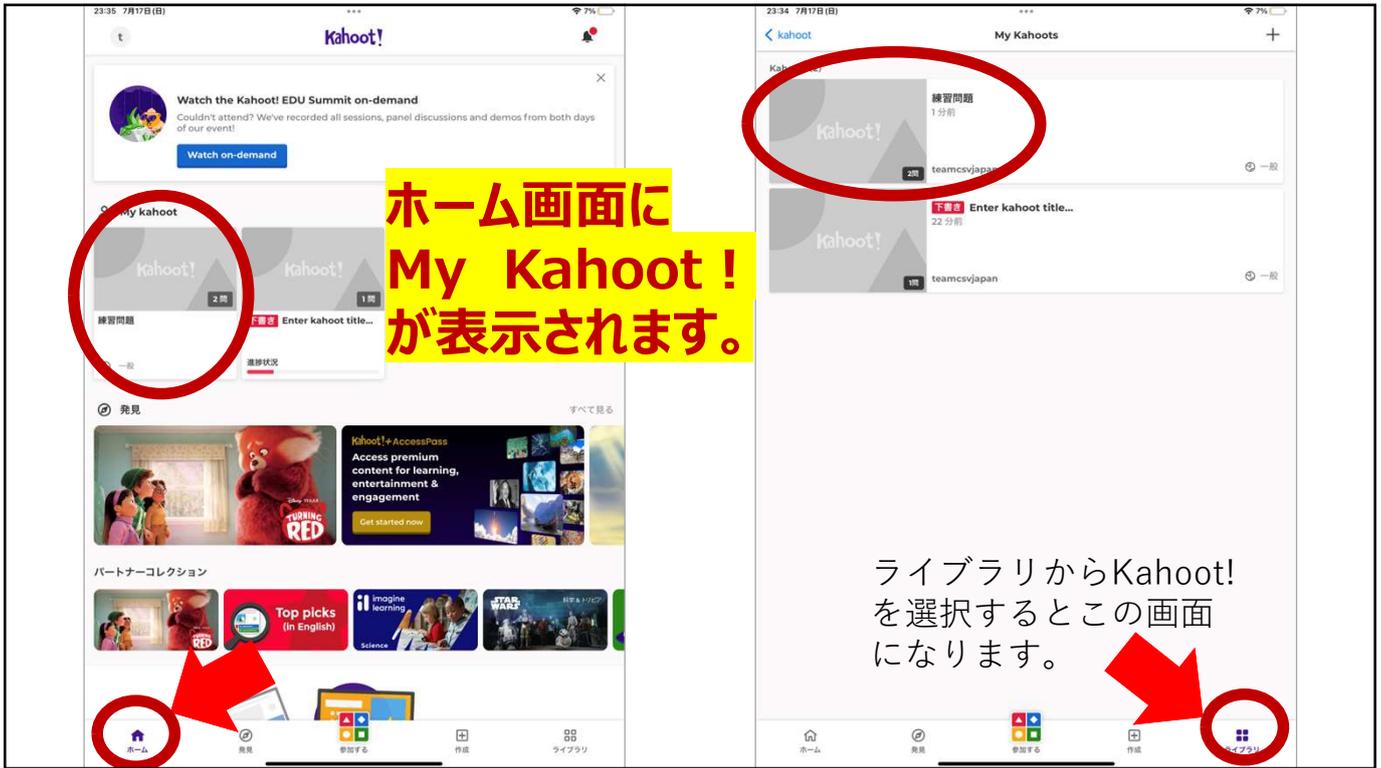
32



33



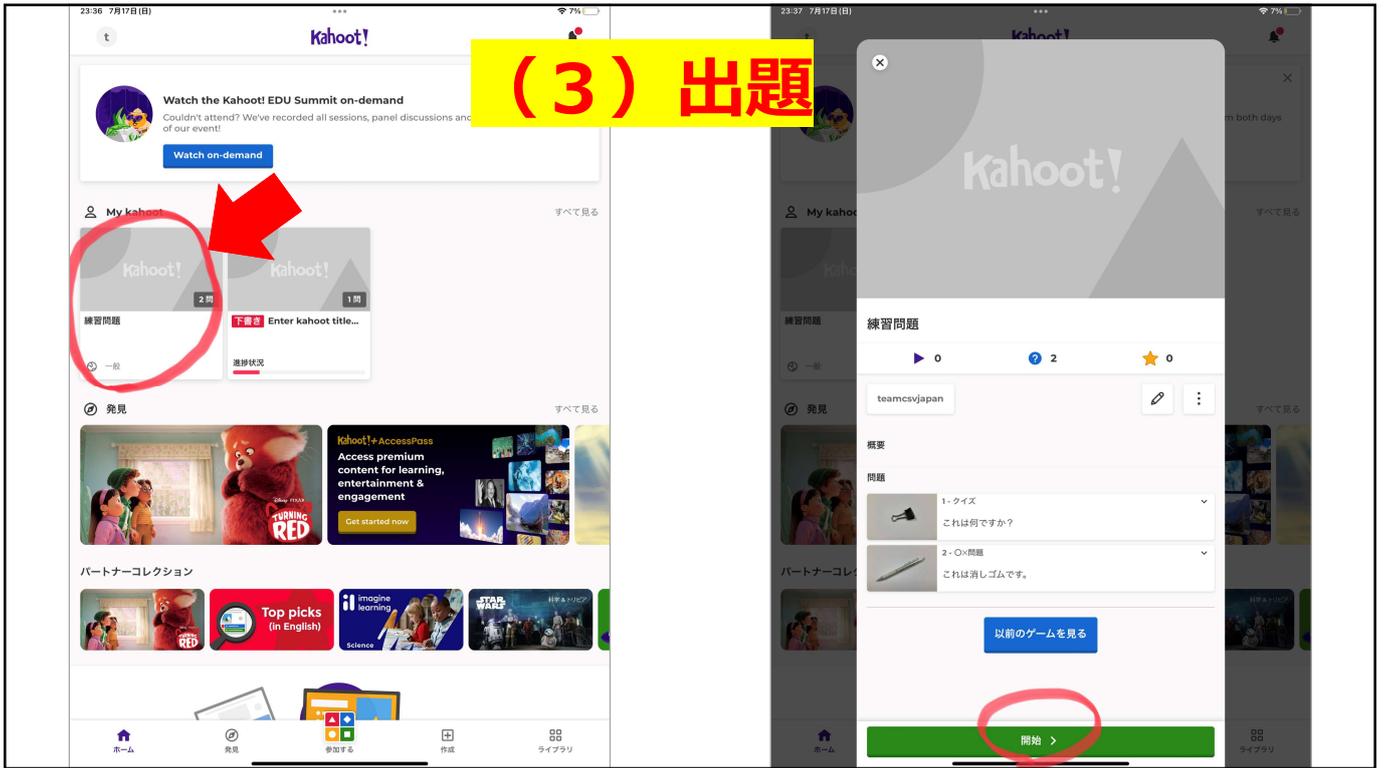
34



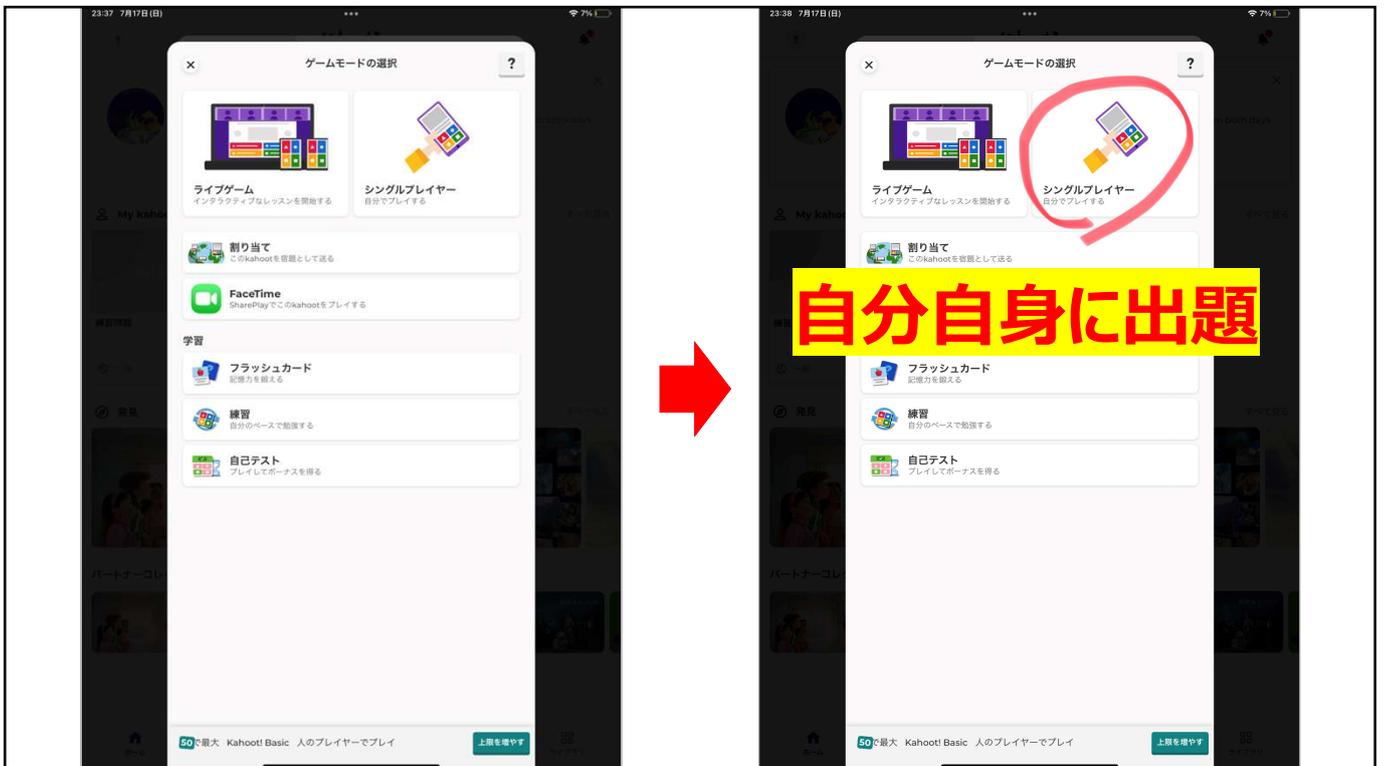
35

出題

36



37



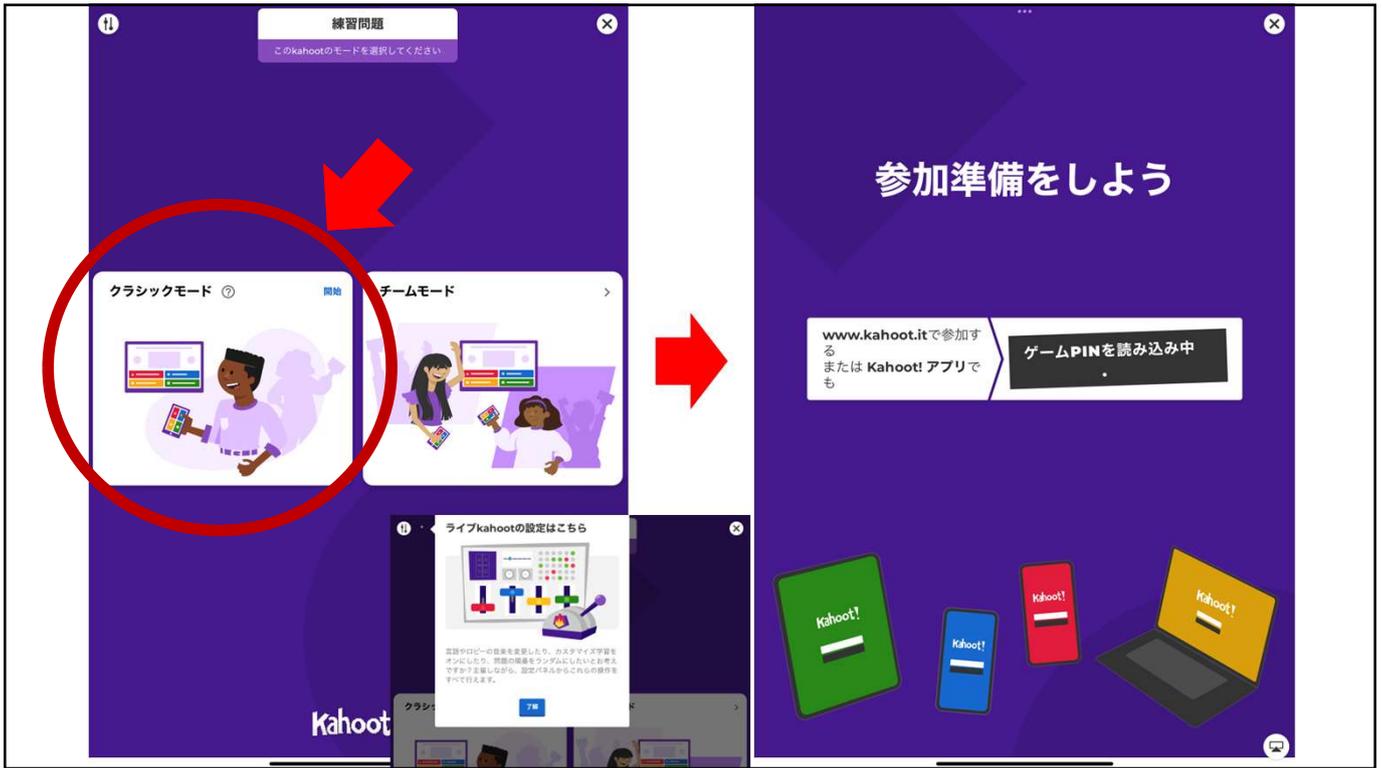
38



39



40



41



42



43



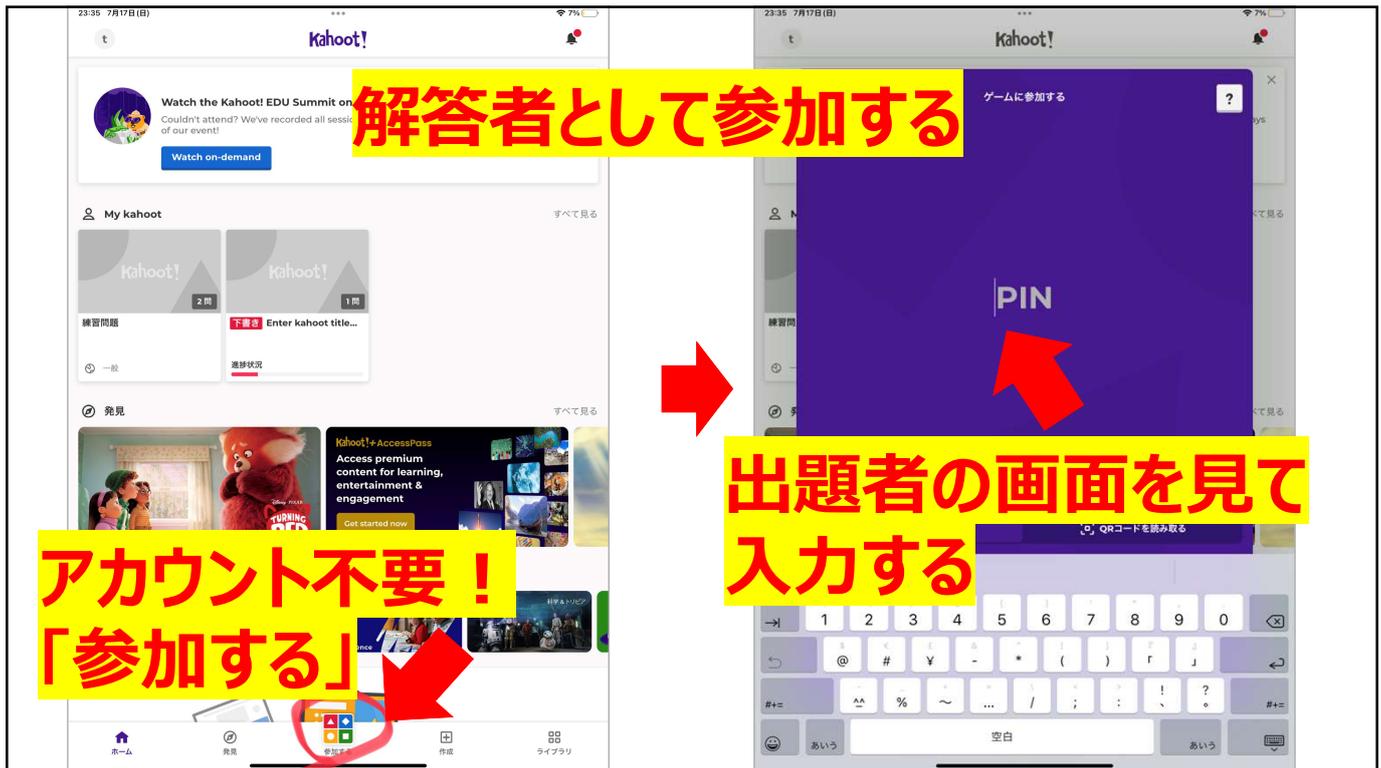
44



45

解答者として 参加する

46



47

パソコンによる問題作成

キーボードとマウスを使うことで、より効率的に問題作成ができます。

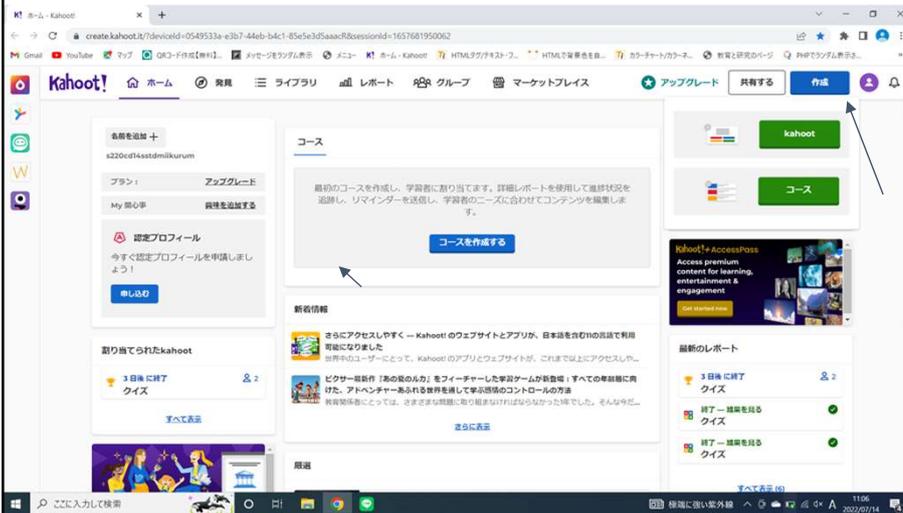
48

問題作成

問題を制作する際は

右上にある【作成】をクリック、【Kahoot】をクリックするとテンプレート画面が表示されます

クイズを作成する際、何もない状態から作成する時は左上の「新しいKahoot」の下にある【作成する】をクリックしてください。



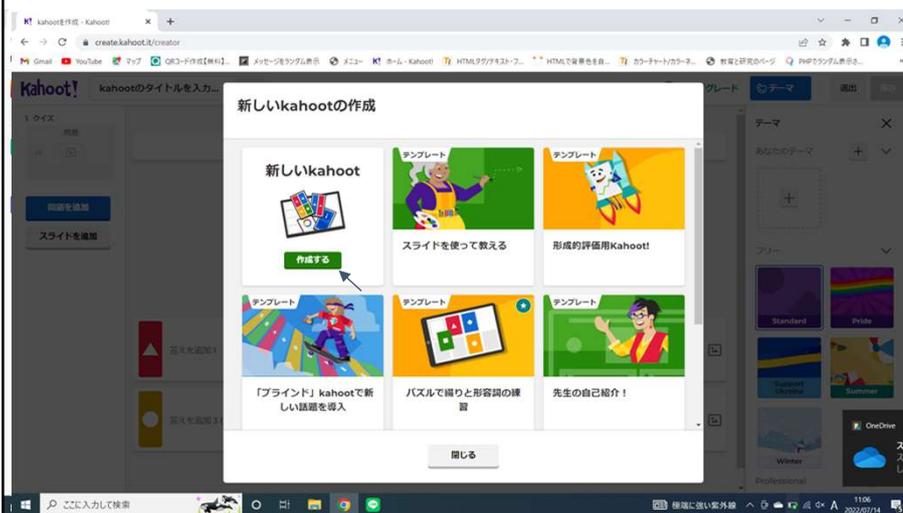
49

問題作成

問題を制作する際は

右上にある【作成】をクリック、【Kahoot】をクリックするとテンプレート画面が表示されます

クイズを作成する際、何もない状態から作成する時は左上の「新しいKahoot」の下にある【作成する】をクリックしてください。



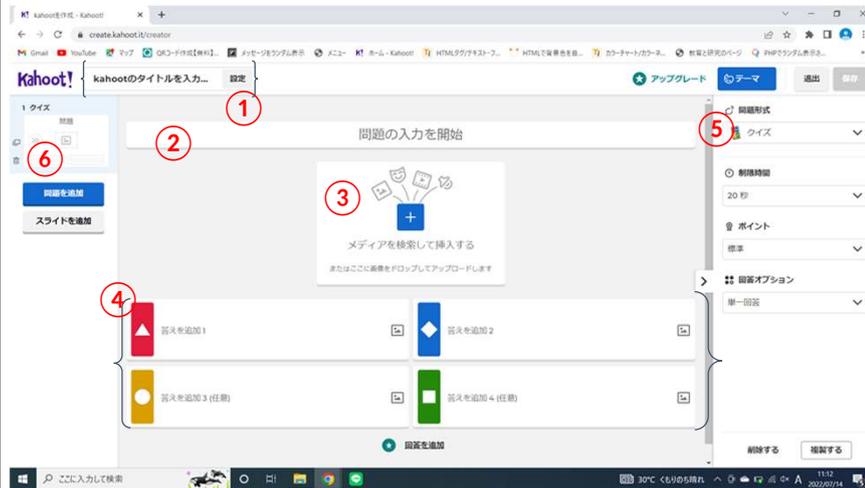
50

問題作成

何もない状態をクリックすると、このような画面が表示されます。

以下に見方を説明をします

- ①クイズのタイトルの設定
- ②問題の入力
- ③イメージ図の設定：画像や動画を挿入が行える
- ④問題の解答の設定
- ⑤問題形式や制限時間、正解時のポイントなどの設定
- ⑥スライド設定



51

レポート(宿題)を出そう

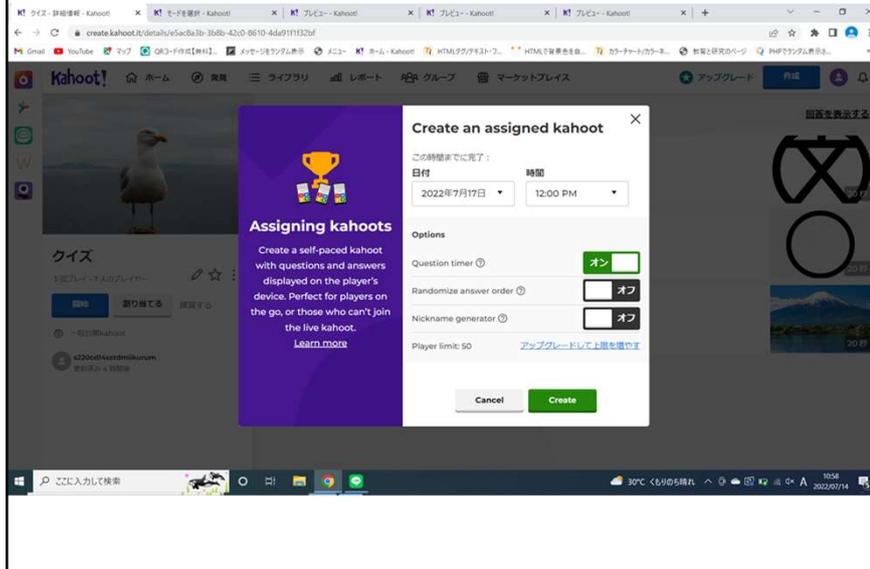
こちらの機能は**宿題として生徒にクイズを送ることが**できる機能です。先ほどの詳細画面で【開始】の隣にある【割り当てる】を押すことで宿題を出すことができます。

【割り当てる】をクリックすると設定画面が表示されます。設定では提出期限などを設定することができます。設定が完了しましたら【Create】を押してください



52

レポート(宿題)を出そう

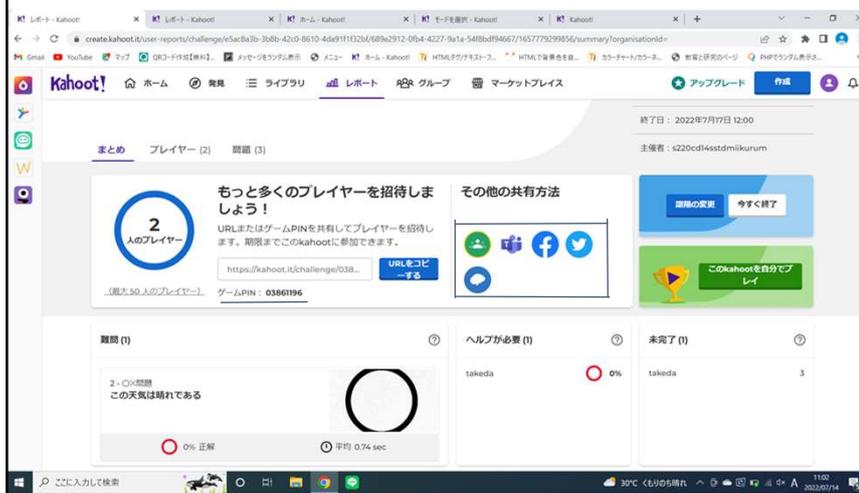


こちらの機能は**宿題として生徒にクイズを送ることができる機能**です。先ほどの詳細画面で【開始】の隣にある【割り当てる】を押すことで宿題を出すことができます。

【割り当てる】をクリックすると設定画面が表示されます。設定では提出期限などを設定することができます。設定が完了しましたら【Create】を押してください

53

レポート(宿題)を出そう



作成が完了すると左の画面が表示されます。

宿題を生徒に配る際は、ゲームPINを教えるだけでなく、サイトURLをGoogle Classroomなどに共有を行うことができます。

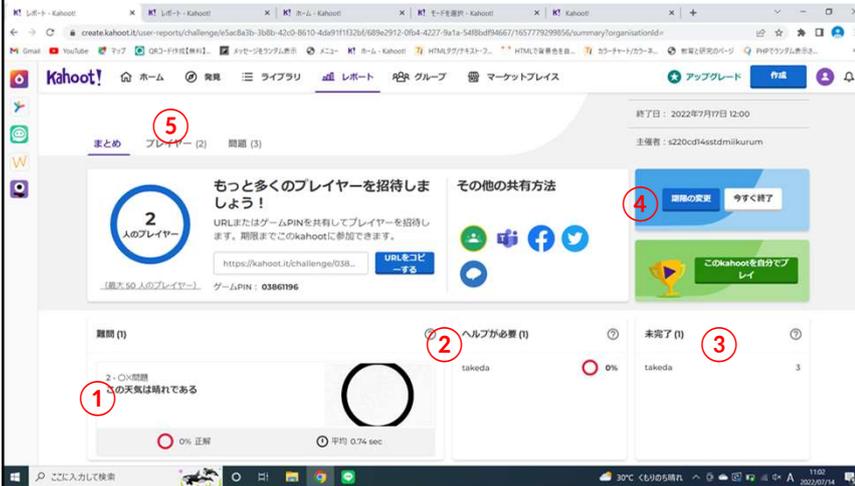
生徒が宿題を行うとプレイヤーに表示され、誰がやっているのかが一目でわかるようになっています。

54

レポート(宿題)を出そう

機能説明

- ①間違いが多かった問題をピックアップします
- ②正答率が35%未満の解答者が表示されます
- ③現在行っているか途中でやめた解答者が表示されます
- ④期間を延長や途中で終了の変更ができます。
- ⑤クリックすると現在、誰がレポートをおこなったことに加え、生徒が何点取ったか、どこを間違えたなどを確認することができます



55

レポート(宿題)を出そう

出題者視点はどうなってるの？

実際に触れてみてください！

ゲームPINもしくはQRコードから挑戦してみてください！

ゲームPIN : 08197084



56